

こんにちは、地域の皆様！

今月も当法人の最新情報をお届けします。気になるイベント等をぜひチェックしてください。

社会貢献者表彰

令和6年7月29日帝国ホテルにて、第61回社会貢献者表彰式典が執り行われ、NPO法人FOOT & WORKは、公益財団法人社会貢献支援財団に寄せられた国内外の226の推薦の中から選考された30組の一つに選んで頂きました。

「社会貢献者表彰」は、公益財団法人社会貢献支援財団が、広く社会の各分野において、社会と人々の安寧と幸福のために尽くし、顕著な功績を挙げた方々を対象として日本財団賞を贈っています。寄せられた推薦の功績内容を学識経験者で構成される表彰選考委員会により審査のうえ受賞者を選考されています。

この度受賞されたどの団体も、素晴らしい活動をされていて、活躍の地が違えど、それぞれの活動が参考になり、互いに頑張ろうとネットワークが広がりました。FOOT&WORKは、障がいを問わず、年齢を問わず、性別を問わず、皆が理解し合い、協力しあい、支え合う関係、そして繋がることで生まれる、新たな可能性を目指して、一步一步進み続けたいと思います。



フードバンク ゆるてい

原材料の高騰や企業努力による生産量の削減、更に南海トラフの注意喚起の影響で、お米が店頭から消える現象まで起きフードバンクへの寄贈は減少しております。

コロナ禍による失業は改善傾向、子育て支援も今年10月から拡充していますが、低所得者や年金生活の高齢者の生活はまだ不安定で最終的には食費を削ると話される方もいらっしゃいます。こうした皆様にフードバンクゆるていは、寄贈して下さった方々の温かいお気持ちをお届けしています。食の課題を抱えておられる方、子ども食堂や地域交流会など、地域活性化に向けた活動をされている団体を微力ながら支え、食にまつわる楽しさの共有や人生を豊かにする活動を継続していきたいと思います。

この度は、企業様にフードドライブをお願いしております中から、直近の情報をお伝えします。R6年9月18日マツダグループ様からフードドライブの寄贈品を拝受しました。4年前からご協力頂いているマツダグループ様は、年2回フードドライブを企画され職員様から食材やエコバックなどを沢山頂きました。手ぶらで来られる方も多く大変助かります。マツダグループ様から頂いた物資より、石川県の豪雨災害支援にも提供させて頂きました。災害用無洗白米10kg入り10箱、小袋シリーズ、お菓子等、特に今回は全て泥で汚れ、支援物資も手運びとお聞きし、早速頂いたエコバック等はとても喜ばれました。『未だ先は見えず、冬を迎える現地では準備すらできない』と、悲惨な状況のご報告を受けております。11月に又支援物資を御届けできればと奔走いたしております。

どうぞ今後もフードバンクの活動にご理解ご協力を改めてお願い申し上げます。

自立訓練（生活訓練）事業所ラルゴ ～松ヶ枝梅安～

ラルゴでは、様々なPGを用意しております。今回はコグトレプログラムの一部を出してみます。以下、これは自分の学生時代30年前...、霜栄先生の講義をヒントに作成したものです。

▽「赤ちゃん生まれた時の法則1」赤ん坊が生まれた時、自分の名前を知って生まれてくるのでしょうか？「俺は、あお君だー！」と。おそらくそんなことはないはずで、生まれた後に両親、祖父母、親類、兄弟などいろいろな人が、生まれた赤ん坊に向けて「あおちゃん！」と名前を話しかけ、なんとなく（それ、俺のこと！？）となって、「俺の名前はあおだ！」って、知らぬ間に自覚することになったと思います。なにが言いたいかというと、人間は他人がいないと成立しないということです。他人があって自分の存在が確認できるということです。自我という意識や自分自身の認識も他人があってこそ。人間は生まれた瞬間から、他人の「おかげで」自分が成立しているということです。

ということは、自分という存在を存在たらしめる他人を尊重しなければなりません。他人を思いやること、有難く思うこと、感謝すること。その感謝する表現を、仕方を、感じ方を知っていること。これらは楽な考え方のヒントとなって行きます。

▽次に「赤ちゃん生まれた時の法則2」赤ん坊は生まれた時、何も言葉を持ちません。それどころか、その刺激が良いものか、悪いものかの区別さえつきません。圧倒的な不安の中、母親のケアによって赤ん坊は次第にもものを区別できるようになりますが、赤ん坊の心の中で、まず最初に分かれるのは、快と不快です。

▽快とはお母さんがそばにいるという安心感だったり、ミルクをもらっているということだったり、おむつが濡れていないという状況を指します。赤ん坊はこれらの区別がつきません。

▽不快とは母親がそばにいないという寂しさや不安だったり、空腹だったり、おむつが濡れて気持ちが悪い、という状況を指します。やはり赤ん坊はこれらも区別がつきません。

▽赤ん坊が泣いていると母親は「はいはい、どうしたの？」と話しかけ、「お腹が空いているの？ではミルクをあげましょうね」と赤ん坊の機嫌と経験をもとに空腹という不快を解消させます。また「おむつが濡れて、気持ち悪かったね」と赤ん坊の気持ちを共感し、不快を取り除きます。こんなやり取りの中、赤ん坊は不快の中にも様々な種類があることを知り、快の中にも様々な種類があることを学習していきます。

そのうち、赤ん坊は快不快の表現を少しずつ変化させ伝えるようになります。このようなやりとりが成長と共に増えていきます。表情だったり身振り手振りだったり、色々なコミュニケーションを通じて、人は多くの言葉を覚え、自分の感情を学習していきます。なんとなく、言葉を発するや訴えるより、聞き取るほうが大切な感じもしませんか???

「ではワークです、感情の分化についてです・・・。書き出しましょう！」“とやっています。

以上が、ラルゴコグトレの導入部分です。導入長くてすみません...また機会があれば出してみようと思います。是非見てみてください、お楽しみに!?なのか...

▽因みに、赤ちゃんは両親の遺伝子を半ずつ引き継ぎますが、70兆の組み合わせの賜物となります。70兆とは世界の人口より多いですね！70兆分の1、一人ひとり、かけがえのない存在です。改めてしみじみと考えさせられます。

相談支援事業所 ラルゴ

R5年8月に開所し、障害福祉サービス等の利用支援や様々な生活上のご相談に応じています。現在は安芸地区にお住まいの方を中心に支援をしており、様々な連絡会等（安芸地区相談支援事業所連絡会、熊野町自立支援協議会 等）の参加により関係機関との連携強化を図っています。

また、最近では、児童、若天性認知症、難病、高次脳機能障害の方のご利用も増え、利用者の方やご家族、支援者の方に学ばせていただく日々です。引き続きよろしく願いいたします。

◇☎：(082) 573-0772

◇開所日：月曜日～金曜日

(土曜：不定期開所)

◇受付時間：8：30～16：45

◇メール：

largo@footandwork.com



第2回 車椅子ソフトボール&フレンドリーマッチ In Hiroshima



スポーツの秋、食欲の秋、出会いの秋〔ウェルチェアスポーツイベント〕

この度、平和の街広島に車椅子ソフトボールのアスリートが集結。

車椅子ソフトボールを通じて、パラアスリートだけでなく、障がい者スポーツ未経験者、そして子どもから大人まで、障がいの有無にかかわらず、出逢いの機会となりました。

車椅子ソフトボールは、競技用の車椅子に乗り行うベースボール型の競技で、日本では、誰もが同じフィールドで楽しむことが出来るユニバーサルスポーツでバリアフリーなスポーツである。

数日前から心配していた雨予報も跳ねのけ、スポーツ日和の二日間。会場では他に、電動車いすの試乗・超軽量化車いす及び福祉車輛の展示コーナーやキッチンカーの出店などもあり、賑やかで楽しい空間が広がっていました。

ご協力を頂きました多くの皆様、
ありがとうございました！！



バレー部！！

最近Facebookの更新ができておりませんが、活動をしておりますバレー部です。

5月18日～5月19日（日）にかけて徳島県で行われた今年の中国四国ブロック予選会は決勝で岡山県にフルセットの末敗れ、今年も残念ながら二位となってしまいました。なので中四国後からは体作りを始めました。おかげで今年の九月に参加した第2回「おいでませ山口合宿」では灼熱の体育館の中で約10試合を戦い抜くことができました！去年はバテバテの中で参加したことが懐かしい。今年は広島、山口、愛媛、岡山、鳥根、高知、佐賀の7チームが集まり2日間にわたり試合を行いました！結果は1位！、来年の大会でもこの結果を狙いたいと思います。

また、11月24日には来年の中四国大会出場権をかけた広島市代表選考会が9時から安芸区スポーツセンター小体育館で開催されます。相手は今年結成されたチームだそうで、どのようなチームかわかりませんが、来年の山口で開催される中四国大会に出場できるように頑張りたいと思います。お時間ある方は是非会場まで足を運んでいただけたらと思います！

選手募集中！

精神障害者手帳もしくは自立支援医療を持たれている方
(お持ちでない方はご相談ください)。

年齢：13才以上。

お申し込み・ご連絡・ご質問は、



Facebook、footwork.svc@senoriver.comもしくはお電話にてご連絡ください。

練習日：毎週土曜日、13時～16時、阿戸公民館



海田町ひきこもり相談支援センター なないろ

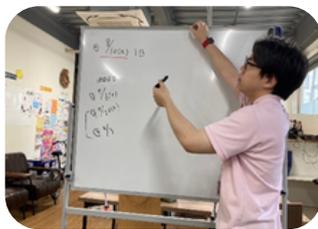
8月に海田町の支援者会である「つながりネットひまわり会（通称：つなひま会）」を開催しました。今回はひきこもり当事者へのインタビュー動画の視聴を通して、意見交換を行いました。居場所づくりのための体制整備や同意が得られない方へのアウトリーチ支援などが課題として挙げられ、引き続きネットワーク協議会等での検討を行っていきたいと思います。

- ・ ☎：082-573-0802
- ・ 開所：月曜日～金曜日
- ・ 時間：8：30～16：45
- ・ メール：shien@footandwork.com

広島ひきこもり相談支援センター （中部・北部センター）

月に2回程、海田町ひきこもり相談支援センターや自立訓練事業所ラルゴと合同で居場所支援を行っています。8月には納涼会を開催しました。納涼会に向けた打ち合わせや買い出し・準備を進め、当日は本人、スタッフみんなでそうめんや盆踊りを楽しみました。12月にも交流会を行う予定で、内容の相談や準備を進めているところです。

また、広島県内の対象市町を訪問し、ご担当者とはひきこもり支援についての意見交換を行っています。西部、東部センターとも連携し、各市町でのひきこもり支援センターの開設・運営についてのご相談にも応じています。このような繋がりから、広島弁護士会、安芸区介護支援専門員勉強会、庄原市民生委員・児童委員協議会で、当センターの活動報告やひきこもり支援についてお話をさせていただく機会もいただきました。



↑ フリースペース（居場所）での
納涼会、打ち合わせの様子

- ・ ☎：082-573-1184
- ・ 開所：月曜日～金曜日
※ フリースペース（月2回土曜日）
※ 家族向けプログラム（月1回土曜日）
- ・ 時間：8：30～16：45
- ・ メール：hikikomori@footandwork.com

お知らせ

◎ ひきこもり研修会の開催！

12月に令和6年度ひきこもり研修会を開催します。今回お招きするのは立教大学の石川良子先生です。人はなぜ『ひきこもる』のか、石川先生の専門である社会学の視点から当事者理解のお話をさせていただく予定です。

入場無料ですので、ひきこもり問題に関心のある住民の方・支援者の方など、どなたでもぜひお申し込みください。

テーマ：『ひきこもり』のいる社会

～当事者はなぜ動けないのか～

講師：石川良子先生(立教大学社会学部教授)

日時：令和6年12月1日（日）13：30～16：30

場所：ひとまちプラザ

お申し込み：FAX（082-554-6375）

または Google Foam

お問い合わせ：082-573-1184

『ひきこもりの社会』
ひきこもる人はなぜ動けないのか？
2024
12.1
SUNDAY
13:30-16:30

要予約

講師：石川良子先生
（立教大学社会学部教授）

◎ 合人社ウエండి
ひと・まちプラザ
北棟5F研修室

入場無料

特定非営利活動法人 FOOT&WORK

FOOT&WORKは、
障害福祉サービスや地域での生活のあり方について考え、環境を向上させることを目的に、各事業を行っております。

当法人の目的にご賛同いただける
賛助会員の募集をしています。

特定非営利活動法人
FOOT&WORKのHPは
こちら

